



私のいちおし本 「ぐるんぱのようちえん」

西内ミナミ 作

選者：国見小学校 関 孝和



私は、ぐるんぱのようちえんという話がとても好きだ。
ぐるんぱというぞうの子どもは、ずっとひとりぼっちでさみしく暮らしてきましたが、仕事を始めることになりました。何をしてもうまくいかないが、最後は努力が実り、幸せにさせるようになる所がすきだ。子どもたちも、ぐるんぱのように、あきらめないで頑張りたいと思う。
これからもずっと語り継がれていく絵本になるとうれしいです。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

**あなた次第で
この世界は素晴らしい場所になる**
ひすい ことろう 著

人生には、面白くなことが、たくさん起こります。でも、それって本当にどうにもならないことでしょうか？たしかに、起きてしまった「できごと」はどうにもなりません。けれども、それをどう解釈するかで、感情はいくらでも変化します。解釈ひとつで、今いる世界を、そこから続くあなたの時間を、人生を、素晴らしいものに変えられるのです。この本は、日常によくあるシーンに落とし込んで、どこにフォーカスすると人生がもっと面白くなるか、その視点の持ち方を70個ご用意しています。



【児童】

わすれていいから
大森 裕子 著

生まれたときから、いっしょの「おまえ」。でも、おまえはだんだん、いないことがおおくったよな。ともに成長する猫と子どもを描いた物語。すべての旅立ちを応援する一冊。



その他の新刊

【一般】「91歳と5か月」いま想うあの人のこと
岸 恵子 著

娘が巣立つ朝
伊吹 有喜 著

【児童】できあがり

彦坂 有紀・もりと いずみ さく
きゅうしょくたべにきました
シゲリカツヒコ 作

【文化センター図書室】

【一般】

アルプス席の母
早見 和真 著

秋山菜々子は、神奈川で看護師をしながら一人息子の航太郎を育てていた。航太郎は甲子園常連校を倒すことを夢見て、大阪の新興校に進学する。菜々子もまた大阪に拠点を移すが…。



【児童】

**北緯44度浩太の夏
ぼくらは戦争を知らなかった**
有島 希音 著

北海道の西北、日本海に面する小平町。小学5年の浩太たちは、終戦直後の町で起きた悲しい事実を知り…。作者が故郷の海で起こった「三船殉難事件」に正面から向き合った作品。



その他の新刊

【一般】ウクライナとともに 涙と笑顔、怒りと感謝の365日
坂本 龍太郎 著

僕たちはまだ、総理大臣のことを何も知らない。
長谷部 京子 著・監修

【児童】ざんねん？びっくり！文房具のひみつ事典
ヨシムラマリ 作

陸上競技入門 初心者もぐんぐんレベルアップ
菅間 友一 著